



# 迎春

## 箱根町長 山口昇士



明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。私も3期目の町政をお預かりさせていただくこととなり、新年を迎え箱根を愛する気持ちをさらに強く抱き、誠心誠意まちづくりに取り組み決意をいたしております。昨年を振り返りますと、10年ぶりに箱根を訪れていただいた観光客数が目標であった年間2,000万人を超えることができたご報告をさせていただきます。1000年に一度といわれる世界的金融危機の混乱により、景気後退の波が押し寄せてきている中、観光立町である本町としましては、観光産業の振興が発展の基盤となることから、この数値に甘んじることなく、魅力ある箱根の発展に力を注ぎ、注目されるまちづくりを考えております。

また、10月には、2010年までに訪日外国人旅行者数を1,000万人にするなどの目標のもと、観光立国推進の実現に向け、観光庁が設立されました。国を挙げて力を入れる「観光」への取り組みに、箱根に求められる役割をしっかりと果たしてまいります。

21世紀は環境の時代といわれています。地球規模での環境問題が発生している中、清らかな水の流れ、おいしい空気、爽やかな風、これら緑豊かな自然環境を資源とした居心地の良い「環境先進観光地」を目指し、本年6月には町の素晴らしい景観の保全に向けて「箱根町景観条例」を施行するとともに、世界に誇れる国際観光地箱根の実現のため「仮称」箱根町観光振興基本条例の策定に向け着手いたします。また、「美しい箱根」を後世に引き継ぐため、CO2排出量を削減する取り組みとして「電気自動車」が走る環境の整備も進めてまいります。

今、地方自治体は地方分権改革により独自性のあるまちづくりを求められております。本町におきましても本年4月「箱根町自治基本条例」を施行し、個性豊かで魅力あるまちの創造を、町民の皆さま、事業者、そして行政が一丸となった協働によるまちづくりを目指しております。少子高齢化、人口減少社会の進行や目まぐるしく変わる政策などの非常に厳しい環境は、裕福といわれる本町においても例外ではありませんが、苦しい時代を乗り越える力を試される時期であります。

箱根の未来に確かな展望と明るい希望がもてるまちづくりを進めてまいりますので、今後とも、町政運営のご指導とご協力をたまわりますとともに、皆さまの今年一年のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

新年、明けましておめでとうございます。箱根町議会を代表いたしまして謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆さま方には、日ごろから町議会の活動に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り議員一同心からお礼を申し上げます。

ご承知のとおり、最近の社会・経済情勢は激動の一途をたどり、これに對応する地方公共団体の行政需要も複雑多様化しております。少子高齢社会の到来、環境の保全、情報化社会の進行等、地方行政を取り巻く環境は誠に厳しく、本町で抱える問題も複雑多岐にわたっております。

このような中、昨年は、長年の懸案でありました町立小・中学校の統合が実現し、教育環境の充実が図られました。今後、学校と保護者、地域、そして町が一致協力して、激動する社会の中で、世界の人人たちと助け合い、共に考え、平和で豊かな世界を創造する箱根人を育てることが大切です。私は、そこに、箱根の、いや日本の明るい将来を見ることができると考えております。

議会といたしましても、子どもたちの健やかな成長のために、さらに努めることはもちろん、箱根町が抱える課題の解決に向け、議員一丸となり、いかにすれば、豊かで魅力ある「箱根町」が創造できるか真摯に考え、最大限の努力をしまいる所存であります。

町議会は町民の代表として、議決機関の機能を最大限に発揮しつつ、町民の皆さまのご期待にそよう努めてまいります。

どうか本年も、町議会により一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、平成21年が、皆さまにとりまして幸せな年であり、ますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



## 箱根町議会議長 西村和夫



1月2、3日に開催予定の箱根駅伝往路優勝校に贈られる寄木細工製のトロフィー